

スクールカウンセラー・石川先生に聞いてきました！

神明中学校
教養厚生委員会

皆様からいただいた質問について石川先生にお話を伺い、教養厚生委員がそれぞれの解釈によりまとめたものです。

子どもとの関わり方についてほんの少しでも参考にさせていただければ幸いです。※個人の特定を避けるため、いただいた質問は表現方法が変更・分割されている場合があります。

子どもが勉強をしない(声かけ・対処)

- ◇子どもの自主性にある程度任せて肯定的に。
 - ◇勉強しない理由も子供によって違う。
 - ・勉強自体に意味が見出せない
 - ・勉強の内容がわからないからしたくない
 - ・塾に行く意味が見出せない …など
- まずは、どうして勉強したくないのか？
子どもと話をして気持ちを聞く(本心をたずねるには、寄り添い、気長に答えを待つ)。
子どもが答えづらそうなら Yes.No.形式にするなど、答えやすい工夫を。
◇親は結論ありきで話を進めがちなので注意。

**やれと言ったからと言って
勉強するわけではない**

朝自分で起きられない、手助けはどこまで？

自分で起きられるのがベストかもしれないが一度、子どもと「どうしたら気分良く起きられるか」を話し合ってみる。「自分ができない事を認識して適切な手助けを求められるようにするということも自立の一つ」なので、起きられない時は起こす、毎日起こすということでも…。

**できない事に対して人の力を借りることも
決して悪いわけではない**

「～してほしい」という事を伝える時の声かけ

- 「こういう人になってほしい」と伝えるのもよい。
- 「I(アイ)メッセージ」私はこうしてほしいと思っているという伝え方(～してちょうだいではない)。
- 短い言葉でポツリとつぶやいてみるのも効果的。

子供が朝、なかなか登校したがない

- ◇ある程度原因が推定できる場合(特定の授業に苦手意識を感じている等)には、欠席または遅刻させて様子を見るのも…。
 - ◇単純に寝不足等朝が弱いことからくるものであれば、ひとまず行かせて体が辛かったら帰るよう促すのも…。
- また、次への対策として、朝だけの問題ではなく前夜の過ごし方から見直す事も効果的かもしれない。

提出物の管理など本人にどれだけ任せていくか

親のチェックに甘えてしまっているところもあるかもしれないので、小さい失敗を重ねながら徐々に親の手を離していくことを試みる。
→親側も子離れの勇氣が必要
※学校の評価が気になるようならばそこに影響がないようにフォローすればよい。

コロナ禍で友達とのコミュニケーションも希薄になり 大人以上にストレスがかかっているか心配

自宅で過ごす時間を「遊びに行けない」ではなく「普段出来ないようなことをしてみる良い機会」と捉え、家の時間が楽しめるよう工夫を。

子どもは自分とは別人格なので、結論ありきで話さず話を聞いてあげる余裕を持ちたいです。
委員の感想

根底にはどれくらいどのように子供と関わっていくべきかというテーマがあるように感じました。
委員の感想

スマホ、ゲーム依存にならずに上手く付き合うには

時間制限や接続の制限など物理的な方法も試しながら、子どもと相談しつつより良い方法を考えたらよいのではないかと。

ゲームばかりしている

ゲームは学校以外のコミュニティの一つであり、自分を受け入れてくれる世界に居場所を求めている場合もある。また、子どもとゲームの話をし、可能なら一緒にプレイしてみる事で理解できることもあるかもしれないし、コミュニケーションのきっかけにもなる。まれに依存ということもあるので中毒性があるようならよく話し合っ、必要なら病院を受診してみてもどうか。

感謝の気持がなく、周りに興味がないように感じる よい声かけは？

中高生の頃は人としては未熟で、自分の事で精一杯。親への感謝や家族への配慮までする余裕がない場合も。もう少し大人になってくるまで見守ってみてはどうか。また、両親が日ごろから相手へ感謝の気持を表現したりするのを目にすることで、自ずとそれが当たり前と考える傾向にあるので大事。

手取り足取り、見守りはいつまで？

実が熟し木の枝からある日突然ポトリと落ちるように、その時期は必ずやってくる。

親から話をするときは

短く、分かりやすく伝える。
つい沢山伝えたくてしまいが**話が長いのは逆効果**。
正面から言わずに、つぶやく、さりげなく伝えるのも手。
出来なかったことを注意するのではなく、頑張ったね、これだけ出来たね、とまずは認めてあげる。
その上で「もう少し〇〇だったね、惜しかったね。」等伝えたいことを言う。